

B-2 授業形態の工夫

1 「グループ学習」について

グループの基本は、4人1組とした。生徒には、まず自分で考え、それを適切な方法で説明し、互いにわかるまで話し合いを進めることを全体の約束とした。グループ全体の課題は、能率的にかつ正確に計算を進めるにはどうすればよいか、ということにした。活動中の合い言葉は「①正確に、②はやく、③丁寧に」とした。そこで、分母に√のない形にしてから行う方法、根号の中の数をできるだけ小さい自然数にすることにも考えが及んだようであった。

また、授業中は生徒同士が十分に話し合うことができるように時間の確保を心がけた。さらに、生徒には、これまでに学習した内容を使って問題解決をすることも重要であることを知らせた。

その結果、生徒は自分なりに納得するまでを繰り返し、互いの学び合いの場となったようである。グループ内にわかる生徒がいない場合、教科書を調べたり、ノートを振り返ったり、4人で協力する姿が見られた。

生徒のなかには、間違えることを極端に嫌う生徒もおり、4人という人数は自分の考えや質問を安心して出すことができ、積極的な学習態度へとつながっていったようである。

2 パターン化することについて

- ① 前時までの復習、または基本となる変形等を確認する。
- ② 本時のねらいを明確にし、そのねらいを達成するための課題に取り組む。
- ③ グループ学習の形態で話し合いを進める。
- ④ 一斉で本時の学習内容を確認する。
- ⑤ 小テストと自己評価を行う。



[学び合う生徒の様子]

[相手が理解する方法で説明している様子]

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 18} \\ \underline{16} \\ 2 \end{array} \quad \begin{array}{r} 3 \overline{) 6} \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$
$$\begin{aligned} 21x - 3x + x \\ = 21x + x - 3x \\ = 3x - 3x \\ = 0 \end{aligned}$$